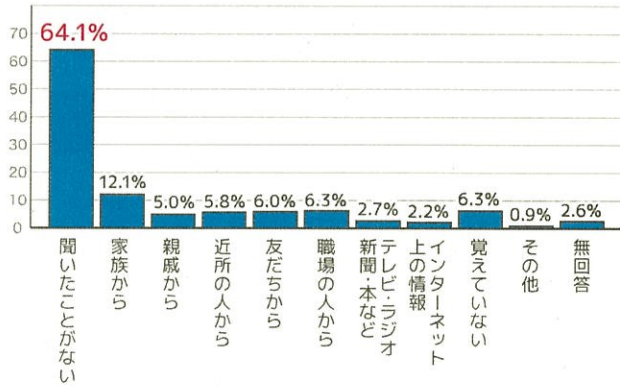


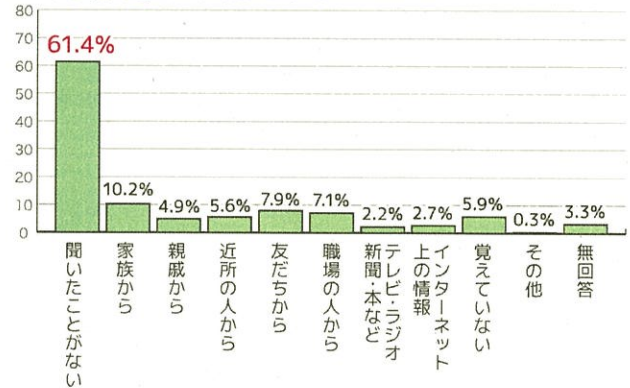
10. 部落差別(同和問題)についての情報を誰から聞きましたか

最近5年間で、A～Eの部落差別(同和問題)についての情報を聞いたことがあるかどうか、そして聞いた場合は誰からの情報なのかについて聞いています。

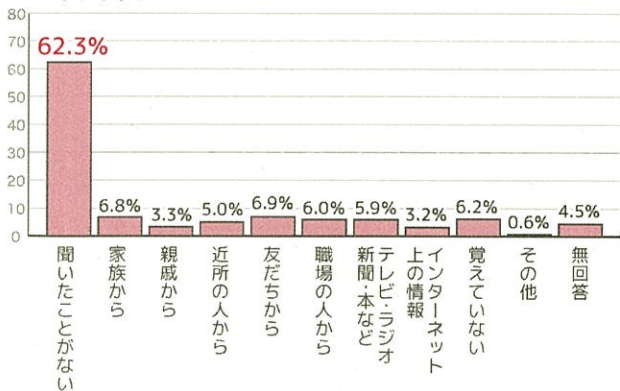
A. 同和問題にはかかわらない方がよい



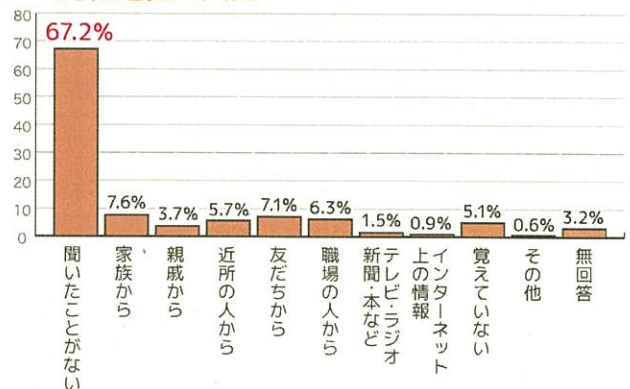
B. 同和地区の人はこわい



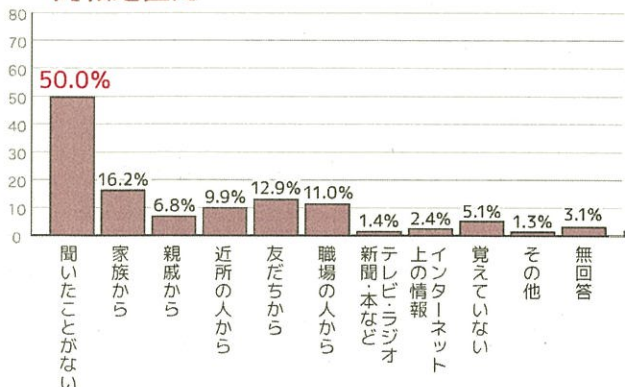
C. 同和地区の人にだけ特別な施策を行うのは不公平だ



D. (具体的な人物名を挙げて)あの方は、同和地区の人だ



E. (具体的な地域名を挙げて)あその地域は、同和地区だ



これらの情報は、部落差別(同和問題)に対する偏見をなくしていくために、流布状況の現状認識と偏見の入手経路を把握し、教育啓発に生かしていくことが大切だと考え、質問をしています。

A、B、C、Dに関しては、6割以上、Eは5割の県民が、過去5年間で「聞いたことがない」と回答しています。

一方、聞いたことがある中で、「家族から」で割合が高かったのは、

- 「E.(具体的な地域名を挙げて)あその地域は、同和地区だ」 16.2%
- 「A.同和問題にはかかわらない方がよい」 12.1%

といずれも1割を超えています。

また、「友だちから」で最も割合が高かったのは、「E.(具体的な地域名を挙げて)あその地域は、同和地区だ」が12.9%と、唯一1割を超えています。